

「障害児（者）入所施設における歯科保健の取り組みについて」調査結果の概要

1 調査目的

健康づくり推進条例に基づく兵庫県健康づくり推進プランに則した実施計画を策定するに当たり、特に配慮を要する者と位置づけ、重点的に取り組むこととしている障害児（者）に対する歯科保健の実態を把握し、目標値設定や推進方策を検討するため、障害児（者）入所施設における歯科保健の取り組みについて、実態調査を行った。

2 調査対象

県内に所在する障害児入所施設 16 施設及び障害者入所施設 98 施設（114 施設）

3 調査項目

- (1) 利用者への口腔ケア実施状況
頻度、対象、方法
- (2) 口腔ケアや口腔機能維持向上の取り組み状況
- (3) 歯科健診について
頻度、対象、方法、協力歯科医の有無
- (4) その他の取り組み

4 実施方法等

(1) 調査方法

平成 24 年 4 月 1 日現在の障害者入所施設名簿一覧（県障害者支援課作成作成）記載の障害児（者）入所施設全施設に対し、県障害者支援課から電子メールによる調査票配付、電子メール、FAXによる回収

(2) 調査時期

平成 24 年 6 月 22 日～平成 24 年 7 月 10 日

5 調査結果

(1) 回答状況

対象区分	配付数	回収数	回収率
障害児入所施設	16	16	100.0%
障害者入所施設	98	98	100.0%
計	114	114	100.0%

【圏域別状況】

神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨
27	13	11	8	9	10
23.7%	11.4%	9.6%	7.0%	7.9%	8.8%
西播磨	但馬	丹波	淡路	県計	
22	6	5	3	114	
19.3%	5.3%	4.4%	2.6%	100.0%	

(2) 調査結果

問1 利用者の口腔ケアを行っていますか。

頻度

ア 1日1~2回	イ 1日3回以上	ウ 実施していない	エ その他	計
51	55	3	5	114
44.7%	48.3%	2.6%	4.4%	100.0%

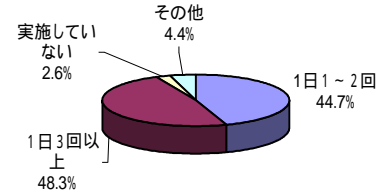
対象(上記 ア、イ、エに回答した施設)

ア 全員	イ 一部	計
98	13	111
88.3%	11.7%	100.0%

方法(上記 ア、イ、エに回答した施設、複数回答)

ア 利用者自身が実施	イ 職員(介助が必要な場合のみ)	ウ 外部の専門家(歯科医師、歯科衛生士)	エ その他
81	99	51	9
73.0%	89.2%	45.9%	8.1%

障害児(者)入所施設における口腔ケア実施状況



問2 口腔ケアや口腔機能向上の取り組みについて(複数回答)

舌、粘膜や義歯など歯以外の口腔内の清潔を保つ取り組みを取り入れている。	61 (53.5%)
だ液腺マッサージ、嚥下練習など口腔機能維持向上のための取り組みを取り入れている。	28 (24.6%)
歯科医師や歯科衛生士による指導や実践を取り入れている。	88 (77.2%)
特に取り組んでいない。	12 (10.5%)
その他	8 (7.0%)

問3 歯科健診について

頻度

ア 年1回以上	イ 不定期に実施	ウ 実施していない	計
75	31	8	114
65.8%	27.2%	7.0%	100.0%

対象(上記 ア、イに回答した施設)

ア 全員	イ 一部	計
84	22	106
79.2%	20.8%	100.0%

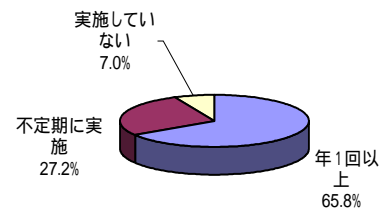
方法(上記 ア、イに回答した施設、複数回答)

ア 歯科診療所で実施	イ 訪問などにより施設内で実施
38	80
35.8%	75.5%

協力歯科医の有無

ア 有	イ 無	計
110	4	114
96.5%	3.5%	100.0%

障害児(者)入所施設における歯科健診実施状況



問4 その他取り組んでいること

個別支援計画に歯や口腔の健康に関して記載している	58 (50.9%)
施設内カンファレンスの際、入所者の歯や口腔の健康についても取り上げている	52 (45.6%)
入所者の歯や口腔の健康について専門家に相談している	86 (75.4%)
職員が歯や口腔の健康に関する研修を受けるなどの機会がある。	61 (53.5%)
その他	15 (13.2%)

問5 その他意見

(各施設における口腔ケアの取り組み)

- ・ 訪問歯科の協力を得て、歯科保健活動を実施している。利用者、職員の口腔ケアに対する興味関心、意識の向上が見られる。
- ・ 併設診療所に歯科があり、当方は恵まれているが、そうでない障害福祉施設が多く、歯科衛生に苦労されていると聞く。
- ・ 施設内に公益事業として歯科医院を開院している。
- ・ 施設へボランティアで来てくれる口腔ケアで変化が生まれている。
- ・ 地元の歯科衛生士会に協力により、毎月(年12回)来ていただき、男女隔月で歯科衛生指導を実施。年1回歯科医師による健診も実施。併せて地域のグループホーム等の利用者にも案内し、衛生指導等に参加している。
- ・ 今年度、地域の歯科医師、歯科衛生士団体などと委託契約により定期的な歯科健診を実施予定。
- ・ 歯科衛生士が非常勤で勤務できる状況を整えたいと思っている。

(歯科医療・歯科専門職との連携等に関する要望)

- ・ 訪問歯科料金が安価になるような仕組みが必要である。
- ・ 歯科診療車で来てくれる歯科医師の情報がほしい。
- ・ 協力歯科医師以外の利用者個人のかかりつけ歯科医師との連絡・協力が必要。
- ・ 当施設は利用者が歯科治療をすぐ対応していただけるので恵まれている。口腔内で健康状態が分かると言われるくらい重要なこと。入所施設においても、歯科医師が嘱託医として週1回、月1回診察してもらえるような設備があれば望ましいと感じる。
- ・ 重度の知的障害者や自閉症者については、安心して専門家の治療を受け入れることができるかどうかは鍵になることから、支援する職員から本人の状況を十分に聴取していただき、利用者のペースで治療ケアが行われるよう協力をお願いしたい。
- ・ 協力歯科医院の歯科医師と歯科衛生士によるケア及び治療が非常に速やかに対応され、利用者の苦痛の軽減が図られている。今後、職員の勉強会等にも協力いただけるとありがたい。利用者自身の学びの場をもち、職員も学びを深め、ケアに力を入れていきたい。

(口腔ケアに関する啓発・研修等についての要望)

- ・ 障害児(者)施設における口腔ケアの重要性の啓発活動が必要。
- ・ 年々、嚥下困難者が増えるなか、健康を維持する上でも口腔ケアの重要性を感じている。そのためにも職員が口腔ケアの知識を深めて実践できるよう専門研修への参加等に積極的に取り組んでいきたい。
- ・ 口腔汚染により肺炎等の発症予防のための実践を取り入れた研修等の実施。
- ・ 歯科衛生士に月1回来園してもらい、歯みがき指導を実施しているが、月2回以上実施できれば、口腔の健康管理を個別の支援へと向上できるのではないかと思う。
- ・ 年に1回は、職員のブラッシングの介助指導と利用者の方の健診の実施ができる様な取り組みを行ってほしい。
- ・ 職員向け研修会の実施を計画してほしい。
- ・ 年1回、県・市が施設内に歯科衛生士を派遣してもらえたらと思う。

(障害児(者)の口腔ケアに関する課題・問題点等)

- ・ 利用者の高齢化が進んだこと、入所前のケアができておらず、元々歯の状態が非常に悪いこと、歯科治療やケアを拒まれること等、問題が多く、対応が追いついていないのが現状。
- ・ 入所時点で既に状態が悪い利用者が多いので、早期からの取組が必要と思っている。
- ・ 歯科健診を受けてその後の受診ができて、数ヶ月後の健診が継続してできていないのが現状。訪問歯石除去が受けられるようにできないものか。
- ・ 障害(児)者が、歯科受診しやすい環境を整えてほしい。
- ・ 重度の障害者が受診することは本人の状態及び車や付き添いの手配等で難しい場合が多く、巡回等が実施できるととても助かる。

